

今回の照明改修は、帝国ホテル東京本館3階にある大宴会場の一つ「富士の間」のステージ演出用照明のLED化です。省エネ化はもちろんのこと、既設光源では表現しきれない細かい色味の変化やシーン変化の応答性を高め、披露宴やコンサート等、様々なイベント演出の対応を可能にしています。

帝国ホテルは1890年、日比谷の地に海外からの賓客をお迎えする日本の迎賓館として開業。以来、日本を代表する高級ホテルの一つとして発展、大阪、上高地にも直営ホテルを営業しています。1970年、東京に地上17階建ての現在の本館を開業し、1983年には地上31階建ての帝国ホテルタワーが竣工。国際交流やビジネスの舞台としてはもちろんご家族やご友人との集いにも適した宴会場・挙式場やレストラン・バー、プールなど多様な施設が用意されています。



【物件概要】
 名称：帝国ホテル 東京
 所在地：東京都千代田区内幸町1丁目1番1号
 構造・規模：本館地上17階（S造・SRC造）地下3階（RC造）
 帝国ホテルタワー地上31階（S造・SRC造）地下4階（RC造）
 面積：24,379㎡（敷地）19,540㎡（建築）240,250㎡（延床）
 【改修概要】
 対象宴会場：本館3階富士の間 1,236㎡
 改修施工：東芝ライテック（株）
 工事期間：2020年12月

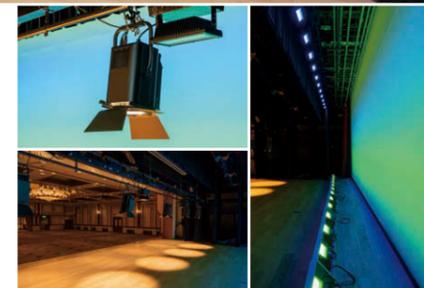


フルカラーLED水平ライトによる多彩な調色 上部にフルカラーのLEDアッパー水平ライトを、床部にはLEDロー水平ライトを配置②③④⑤。

ステージ用LEDスポットとフルカラーLED水平ライトによる豊かな舞台演出。

帝国ホテル東京の大宴会場の一つである「富士の間」は披露宴、コンサート、各種パーティー、イベント等、様々なシーンで利用されています。今回の改修は、その宴会場の演出で重要なステージの照明設備LED化を実施いたしました。昇降可能なライトパトンは6型LEDフレネルスポットライトを設置。省エネ、長寿命化はもちろんのこと、ワット数削減により舞台の高温化を大幅に改善。メンテナンス性、空調負荷低減にも貢献します。

また、舞台上部にはフルカラーLEDアッパー水平ライト、床部にはフルカラーLEDロー水平ライトを設置。従来のハロゲン電球から大幅に省エネでき、長寿命並びにフルカラーLED4色構成（RGBA）により多彩な雰囲気にも染め上げ、鮮やかに華やかな演出効果を創出しています。運用面では床部配置の水平ライト用に3台1組が設置可能な台車を導入、演出内容により照射配置変更や設置収納を短時間で対応できるようにしています。



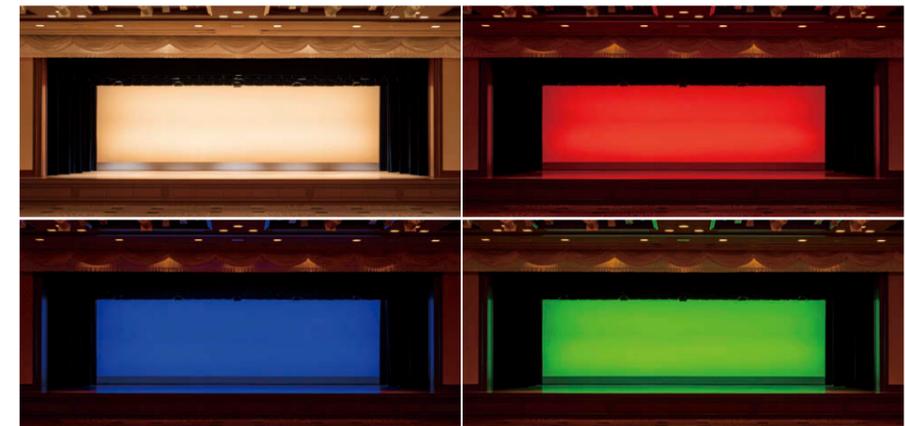
（左上）6型LEDフレネルスポットライト①とフルカラーLEDフラットライト④（左下）ステージ用LEDスポットライトによる舞台照明。（右）舞台上部に設置したフルカラーLEDアッパー水平ライト②と床部のフルカラーLEDロー水平ライト③



ステージ用LEDスポットライト①とフルカラーLED水平ライト②③による豊かな舞台演出。



改修された宴会場のステージ照明を宴会場の右側から望む
 ステージ用スポットライト及び水平ライトのアッパーとローをフルカラーLED化。



「ステージ」の水平ライトをフルカラーでLED化し、多彩なバリエーションを演出②③

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名（品名）	形名	台数	備考
宴会場ステージ	① 6型LEDフレネルスポットライト	AL-LED-FSH6-L	15	115W 3000K
	② フルカラー水平ライト（アッパー）	AL-LED-UH-4W-C-2	15	122W 5000K 4色
	③ フルカラー水平ライト（ロー）	AL-LED-LH-4W-2	15	122W 5000K 4色
	④ フルカラーフラットライト	AL-LED-UH-4W-C-2	4	122W 5000K 4色
	⑤ ロー水平ライト用台車3台用（特注）	—	—	5セット